

## ボディイメージと食行動に関する社会文化的モデル ーリスクファクターから予防までー

Sociocultural models of body image and eating concerns:  
From risk factor to individual and universal prevention

レイチェル先生には日本学術振興会外国人招へい研究者として来日していただきました。  
ボディイメージや食行動研究では、国際的にも第一人者の研究者です。  
英国出身、フランスの Toulouse 大学院で学位取得、  
フルブライト奨学金でポスドクを1年間経験し、  
現在はアメリカ合衆国の Northeastern 大学の准教授です。  
今回は、メディアや産業といった社会文化的な視点から、  
ボディイメージおよび食行動に関して ご講演をいただきます。

講師 *Rachel Rodgers Ph. D*



日時

2019年11月6日(水)  
18時～19時

場所

大妻女子大学千代田キャンパス  
F棟435講義室

内容

ボディイメージや食行動の問題を引き起こすリスクファクターとして、  
たとえば、メディアの影響や利益を追求する産業社会の影響など、  
数多くの社会文化的要因が挙げられます。  
本講演では、ボディイメージや食行動の問題に関して、エビデンス（証拠）のある  
実証的研究をレビューするとともに、各種予防について取り上げます。  
Many factors in the sociocultural environment may increase risk for body image  
and eating concerns including the media, and other for profit industries.  
This talk will review these factors as well as evidence for their contributions to  
body image and eating concerns. In addition, approach to individual level and  
universal prevention targeting sociocultural factors will be discussed.

司会 大妻女子大学人間関係学部社会・臨床心理学専攻 准教授  
共生社会文化研究所 研究員 山蔦圭輔

無料・途中入退室自由 先着100名様まで

お申込み方法 本アドレスまたはQRコードからお申込みください。

<https://00m.in/3rXLh>

お問合せ

大妻女子大学人間関係学部人間関係学科社会・臨床心理学専攻山蔦研究室 [yamatsuta@otsuma.ac.jp](mailto:yamatsuta@otsuma.ac.jp)

